

精神・発達障害者しごとサポーター養成講座を全社員受講

障害者へ理解深める 中区のエネジン 社員対象に講座

LPガス販売のエネジン（浜松市中区）は19日、全正社員を対象に、障害者への理解を深める講座を始めた。障害者がより働きやすい職場環境にしようと、8月上旬までに同区の本社や県内支店で計4回開き、約180人が受講する。

初回は本社で行い、ハローワーク浜松の精神障害者雇用トータルサポーターの担当者が、100人に1人弱がかかるとされる統合失調症や、気分障害などの特性を解説した。統合失調症を患う人への配慮ポイントとして、ストレスや環境の変化に弱いことや、混乱させないよう情報を紙に書いて具体的に伝えることなどを挙げた。障害者の就職件数が毎年増加する中で、障害種別では精神障

害者の件数が伸びている状況を説明した。

同社は5人の障害者を雇用している。総務課の宮田正直課長は「障害者が安定して長く働けるよう職場内のサポーターを増やしていく」と話した。



講座を受ける社員ら＝浜松市中区のエネジン

エネジンの社員が障害者への理解を深めるために、『精神・発達障害者しごとサポーター養成講座』を受講した記事が掲載されました。

ハローワーク浜松の精神障害者雇用トータルサポーターの担当者を講師に迎え、障害者への配慮のポイントや、接し方の具体的な事例を学びました。障害者が安定して長く働ける職場環境にしていくために、職場内のサポーターを増やしていきます。

エネジンは、SDGsの考えから、誰一人として取り残さないという取り組みを、地域の皆様とともに進めてまいります。

令和5年(2023年)7月21日(金) 静岡新聞

